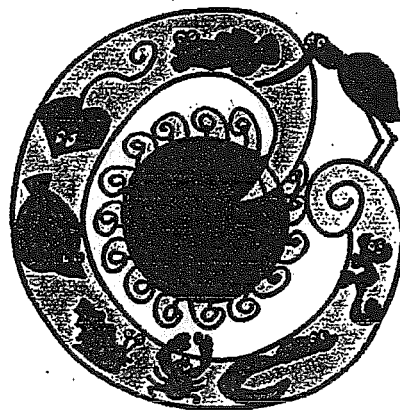


『サンフランシスコ 湾計画』 にまなぶ 国際シンポジウム

TOKYO BAY 
SANBANZE



三
番
瀬
フ
エ
ス
タ

2005.1.23(日)
於 和洋女子大学

参加者数
254人

第1部 サンフランシスコ湾計画 ー過去・現在そして未来ー
基調講演:ピーター・ロバート・ベイ博士

第2部 豊かな「閉鎖性海域」を次世代に引き継ぐために
ー東京湾・伊勢湾・大阪湾・有明海ー

PART 1 現地からの報告

PART 2 パネルディスカッション

主 催

三番瀬フェスタ2004 実行委員会・千葉県

プログラム

<シンポジウム> 西館 1F

10:00	開会あいさつ 実行委員長 大野一敏 千葉県知事 堂本暁子
10:15	第1部 サンフランシスコ湾計画 ー過去・現在そして未来ー 基調講演: ピーター・ロバート・ベイ博士 (湿地再生コンサルタント・サンフランシスコベイエリア湿地再生プログラム設計検討委員)
12:30	昼食 ※シンポジウム会場での飲食は出来ません。南館1F食堂をご利用ください。
13:30	第2部 豊かな「閉鎖性海域」を次世代に引き継ぐために ー東京湾・伊勢湾・大阪湾・有明海ー PART 1 現地からの報告 東京湾: 大野一敏 (千葉県内湾巻網組合長, 東京湾・三番瀬の漁師) ー 東京湾・三番瀬で魚を追う 盤洲: 金萬智男 (NPO 法人盤洲里海の会代表, 盤洲の漁師) ー 盤洲の里海づくり 伊勢湾: 石原義剛 (海の博物館館長, SOS:SAVE OUR SEAの活動) ー 海の博物館から見えるもの 大阪湾: 北村 敏 (大阪市漁業協同組合副組合長, 大阪湾の漁師) ー 湾の今昔 有明海: 松本正明 (有明海の漁師) ー 有明海で漁をしてきた経験から
14:30	休憩
14:40	PART 2 パネルディスカッション パネラー: ピーター・ロバート・ベイ博士 小林聡史 (釧路公立大学教授, 元ラムサール条約事務局 アジア地域担当官) 坂川 勉 (環境省環境管理局水環境部水環境管理課閉鎖性海域対策室長) 鷺見一夫 (東京国際大学講師, 弁護士) 長島大四郎 (水産庁増殖推進部漁場資源課生態系保全室長) 大野一敏 コーディネーター: 清野聡子 (東京大学大学院総合文化研究科助手) フリートーク
16:50	閉会あいさつ (実行委員会事務局長)
17:00	シンポジウム終了

<交流会> 東館18F (会費 ¥3,500.)

17:30	交流会 —ピーター・ロバート・ベイ博士を囲んで— 三番瀬の魚介類料理ほか
19:30	閉場

パネラー・コーディネーター プロフィール

ピーター・ロバート・ベイ (Peter Robert Baye)

カナダオンタリオ州オンタリオ大学で博士号取得。1991～1996 サンフランシスコの合衆国陸軍工兵隊湿地規制部勤務、塩性湿地・干潟・海水性湖沼を中心とする開発計画への環境影響評価に従事。1997～2002 合衆国魚類野生生物局絶滅危惧種担当官として、「カリフォルニア北部海岸の干潟湿地の生態系規模の再生計画」、「サンフランシスコ湾の回復計画」に関わる。現在、サンフランシスコベイエリア湿地再生プログラム設計検討委員。また、湿地再生コンサルタント(沿岸植物生態学専門家)として、政府の自然資源省や NGO と湿地、沿岸の生態系の植生管理・再生計画に携わる。

小林聡史 (こばやし さとし)

1980年代、大干ばつや内戦で激動のアフリカにて保護区管理や野生動物保護の調査研究に従事。その後、ラムサール条約事務局 アジア地域担当官として釧路会議、オーストラリア会議の開催に携わる。現在、釧路公立大学教授(環境地理学・自然保護学)

坂川 勉 (さかがわ つとむ)

環境省環境管理局水環境部水環境管理課閉鎖性海域対策室長

鷺見一夫 (すみ かずお)

1938年、愛知県に生まれる。専門は、国際環境法。

2004年3月、新潟大学法学部教授を退官。現在は、東京国際大学講師、弁護士。

[サンフランシスコ湾・東京湾関係論文]

「沿岸をいかに管理するか—サンフランシスコ湾のケーススタディー」(『海洋時報』第34号1984年8月)

「沿岸管理—『サンフランシスコ湾計画』の検討—」(『横浜市立大学総合研究』第3号1985年6月)

「東京湾総合管理の提言」(『自治体学研究』第31号1986年冬季号)

「東京湾の『沿岸管理』構想—他海域での事例研究を通じて—」(国土庁1986年)

「臨海部開発と法制」(『都市問題』第79巻第12号1988年12月号)

長嶋大四郎 (ながはた だいしろう)

水産庁増殖推進部漁場資源課生態系保全室長

大野一敏 (おおの かずとし)

1939年、千葉県船橋市生まれ。漁師、「大平丸」社長。元 船橋市漁業協同組合長。現在、東京湾北部巻網事業協同組合長。千葉県内湾巻網組合長兼務。東邦大学非常勤講師、NPO 法人ベイブラン・アンソニエツ理事長 [著書]『東京湾で魚を追う』(草思社)他

清野聡子 (せいの さとこ)

東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学科助手。工学博士・農学修士。海好きがこうじて研究の道に入る。専門は海岸・河川・沿岸の環境保全学。研究テーマは、カプトガニなど河口や干潟の稀少生物の生息地の保全、開発による沿岸環境の変遷など。三番瀬・有明海・八代海の再生や千葉県海岸保全基本計画など、国や自治体の環境計画作成への参画、環境政策への提言もおこなう。

ごあいさつ

三番瀬は東京湾の一部であり、健全な東京湾が望めます。

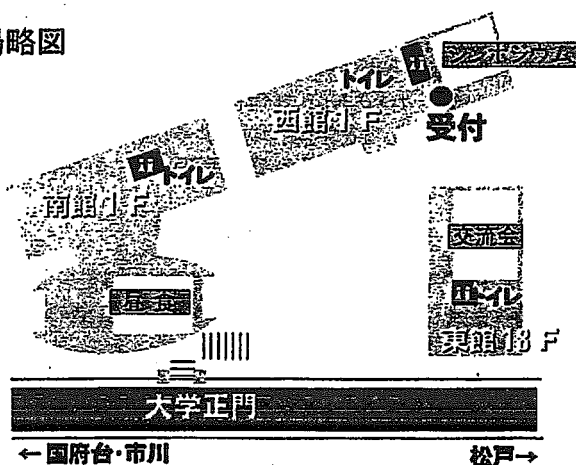
サンフランシスコ湾では1965年に「湾は掛けがえのない天然資源であり、いかなる埋め立ても湾に害がある」として「湾を守る法律」を制定し、改善された湾を次世代に引き継ぐために一括管理をしています。

東京湾では、いまだに縦割行政で価値観がまちまちの上、湾の管理がわかりづらく海からの視点に欠けています。

三番瀬フェスタ実行委員会は、県の三番瀬再生計画を支援し、豊かな湾を引き継ぐため、今後いかにすべきか、サンフランシスコ湾の事例を学ぶことにしました。

三番瀬フェスタ2004 実行委員長 大野一敏

会場略図



◆館内は禁煙となっておりますので、喫煙はご遠慮ください。

◆シンポジウム・交流会の会場ともクロークの用意がありませんので、手荷物、コートなどは、各自お手元にて管理くださいますようお願いいたします。

◆南館1階の食堂で、カレー・ラーメン等を販売いたします。シンポジウム会場内は飲食禁止のため、昼食を持参された方も食堂内で食べていただきますようお願いいたします。

後援

環境省・水産庁・千葉市・習志野市・船橋市・市川市・浦安市・川崎市・横浜市・東京湾岸自治体環境保全会議・浦安市教育委員会・(財)WWF ジャパン・(財)日本自然保護協会・(財)日本鳥類保護連盟・日本湿地ネットワーク(JAWAN)・NPO 法人日本国際湿地保護連合・(社)日本環境教育フォーラム・和洋女子大学・江戸川大学・千葉工業大学・日本大学工学部海洋建築工学科・(社)日本伝統俳句協会

協力

生活協同組合エル・恵ビール

実行委員会

市川三番瀬を守る会／市川緑の市民フォーラム／千葉県自然保護連合／三番瀬市民調査の会／千葉県野鳥の会／NPO 法人行徳野鳥観察舎友の会／三番瀬Do会議／千葉の干潟を守る会／三番瀬を守る会／三番瀬を守る署名ネットワーク／まちネット・ふなばし／NPO 法人ベイブラン・アソシエイツ／自然と文化研究会 theかもめ／NPO 法人千葉県不動産コンサルティング協会／谷津干潟愛護研究会／谷津干潟環境美化委員会／谷津干潟友の会／日本遊魚協力／東京湾うおごころ喰ラブ／ラムサール条約と私たちの東京湾(ROW)／NPO 法人ネットワーク「地球村」／三上直之／前川清

アドバイザー

(財)WWF ジャパン／(財)日本自然保護協会／(財)日本野鳥の会

オブザーバー

日本湿地ネットワーク(JAWAN)／後藤 隆

(順不同)

連絡先

〒273-0005 船橋市本町1-3-1 フェイス7階 三番瀬サテライトオフィス内 三番瀬フェスタ実行委員会事務局 TEL・FAX 047-424-8425 E-mail: hosikuzu@eos.ocn.ne.jp